



学校だより6月号
令和5年5月31日
横浜市立新田小学校

～社会が求める人材像とは～

副校長 野村 賢司

新しい学年になり、2か月が経とうとしています。子どもたちは少しずつクラスにも慣れて、友達とのコミュニケーションが活発になってきているように感じられます。

さて、帝国データバンクが実施している「企業が求める人材像」によれば、企業が選考にあたって特に重視した点のこととして、「コミュニケーション能力」が1位になっていました。これは、コミュニケーション能力が、入社後に身に付けるものではなく、幼少期や中学校、高校、大学などの就学期間で身に付ける「資質・能力」であるという理解されていることだと思います。子どもたちの様子を見ると、廊下や校庭などですれちがうと「こんにちは！」と清々しいあいさつをしたり、授業中でも自分の考えをクラス全体に伝えたりする姿を多く見かけます。

しかし、時には、コミュニケーション能力が、身につけていない場面も見かけます。自分の考えを適切に伝えられない児童や自己主張ばかりで相手の気持ちや話を聞けない子ども、自分の感情のおもむくままの対応しかできない子どももいます。トラブルの仲裁に入った時など、その時の様子を上手に伝えられない子どもも少なからずいます。

ここでのコミュニケーション能力には、お互いの考えや気持ちを理解することだけでなく、お互いの人間関係を上手に保つことが含まれています。そのために、「日頃からしっかりとあいさつや言葉遣いができること」や「相手の気持ちや立場に立って、物事を考えること」、「人のうえや意見をしっかりと聞き、それに対して丁寧に自分の考えや思いなどを伝えること」などの力が必要になってくると考えます。

このような力が身につくき始めるのは、友達との関わりが強くなってくる頃だと思えますが、いつの時でもその基を培うことが大切かと思えます。

コミュニケーション能力の育成（自分の思いや考えをもち、表現し、深めることができる子の育成）は、本校の学校経営方針（重点研究）の具体的な取組目標の一つでもあります。学習や学校生活の中だけでなく、ご家庭や・地域の方々とは協力しながら、これらの力を教職員一同で、しっかりと育てていきたいと思えます。どうぞよろしく願っています。

今年度のPTA活動では、ペーパーレスを推進しています。そのため、今後、メール配信システム「ミラモルメ」を活用し、PTA活動の様子やPTAだよりなどの文書を送信させていただきます。保護者様の個人情報、学校からPTA本部には伝えていませんのでご承知おきください。

【選考にあたって特に重視した点】
1位 コミュニケーション能力
2位 意欲的である
3位 素直